

Beyond 5G 分野における国際共同研究に関する RFI 要領

1 RFI への回答における留意事項

- 本件は、Beyond 5G 分野における国際共同研究に関して、具体的なテーマや共同研究相手を有している企業・大学・研究機関を対象に RFI を実施するものです。
- 本 RFI において求める国際共同研究としては、主に EU 又はドイツとの共同研究を想定していますが、それ以外の国との共同研究についても広く情報を求めます。
- 革新的情報通信技術(Beyond 5G(6G))基金事業の要素技術・シーズ創出型プログラム[※]における実施を念頭に置いています。
- 回答は可能な限り具体的に行ってください。また、概要等を図示したパワーポイント資料等を添付してください。
- 複数の研究テーマについて回答される場合は、テーマごとに別葉にしてください。
- 必要に応じて、回答者に任意のヒアリングをお願いする場合があります。なお、ヒアリングにあたって発生する交通費等は支給されません。
- 本 RFI への回答はあくまで任意です。また、本 RFI に回答されたことをもって、今後の研究開発の公募における採択が約束されるものではありません。
- 総務省では、今後、本 RFI の結果を踏まえ、国立研究開発法人情報通信研究機構及び相手国政府との調整の上、新たな国際共同研究の検討を実施する予定です。

※プロジェクトの開始時点で技術成熟度(TRL: Technology Readiness Level) 1～3に該当する技術であって、社会実装まで一定の期間を要し、中長期的な視点で取り組む要素技術の確立や技術シーズの創出のための研究開発を主な対象とするプログラムです。委託事業にて実施し、1件あたりの支援規模(国費分)は、～1億円程度/年(最大数億円)を想定しています。詳しくは以下の HP をご覧ください。

<https://b5g-rd.nict.go.jp/aboutfund/>

2 回答方法

別添「Beyond 5G 分野における国際共同研究に関する情報提供依頼 回答様式」に記載し、回答内容に関する概要を図示したパワーポイントの資料等とともに、以下の電子メールアドレス宛に、期限までに提出して下さい。

○提出期限：令和5年7月31日(月)(必着)

○提出先：

電子メールアドレス：international_RD_cooperation(アットマーク)soumu.go.jp

件名：Beyond 5G 分野における国際共同研究に関する RFI への回答【回答者名】

宛先：総務省国際戦略局通信規格課

※スパムメール対策のため「@」を「(アットマーク)」と表示しています。

※電子メール(添付ファイルを含む)サイズが10MBを上回る場合には、ファイルを分割等によりご提出願います。

3 参考

- 欧州の官民連携組織である6G SNSにおける2023-2024年のワークプログラムは以下のとおりです。
EU側は、日本との共同研究テーマ候補として”Intelligent AI native platforms leveraging the Open RAN/virtualisation experience: Interoperability testing of architectural approaches in EU and Japan”を提

示しており、今後、共同研究テーマの調整を行う予定です。

https://smart-networks.europa.eu/wp-content/uploads/2022/12/sns_ri_wp_2023-24.pdf

- 本年5月11日に松本総務大臣とドイツ連邦共和国シュタルク＝ヴァッツインガー教育研究大臣との間で通信技術分野に関する協力趣意書の署名を行いました。Beyond 5G/6G や将来の通信技術に関する産学官における研究開発協力の推進に言及しております。原文は以下をご参照ください。

https://www.soumu.go.jp/main_content/000880013.pdf

- 昨年度、総務省において、我が国の企業・大学が自走的に国際連携を進めていくことに資する情報を整理することを目的として調査を行い、以下の URL に「国際共同研究調査」として調査報告書を掲載しております。本 RFI における参考情報としてご覧ください。

<https://b5gnbnc.jp/link.html>